

## 官公庁 4.0 研究会 2024.8.31 開催のご案内

このことについて、次のとおり開催いたします。

皆様、ふるってご参加ください。

### 1 開催概要

日時： 2024/8/31（土） 14:00～16:00

場所： オンライン（Zoom）

<https://us06web.zoom.us/j/89093266569?pwd=z7bu1ZtwTMnWwnjQ66YWW2moVxgAvv.1>

ミーティング ID: 890 9326 6569

パスコード: 465782

テーマ：自治体統一システム構想と地方自治のあり方

講演者：岩崎和隆（神奈川県職員、官公庁 4.0 研究会主査（代表））

参加費：情報システム学会の会員、非会員ともに無料

### 2 官公庁 4.0 研究会とは

情報システム学会の中に設置された研究会です。

人間中心を大前提とし、人間のために IT を活かし切るという考えに基づき、情報システム学の視点でこれからの官公庁のあり方を全面的にデザインしなおすことを構想しています。現時点でデザインしなおすことを想定しているものは、次の通りです。なお、次の内容に限定しないで広く官公庁の情報システムについて研究会にて採り上げていく予定です。

- (1) 国民・住民に提供するサービスレベルの向上
- (2) 国と自治体の協業を生む役割分担
- (3) 国民・住民が参加しやすい政治・自治の仕組み
- (4) 国民・住民の参加意識の向上
- (5) 高品質なシステムを調達できる制度、方式

### 3 今回の開催内容

今、国が進めている「自治体情報システム標準化・共通化」では、2025年度末までに国が定めた標準仕様書に準拠したシステムに各自治体に移行することとなっており、それに向けて自治体ごとにシステム構築が行われております。そのため、いわゆる自治体システム 1,700 個（1,800 個）問題が解消しません。この、自治体システム 1,700 個問題は、無駄であると感じている方が多いのではないのでしょうか。

一方、自治体システム 1,700 個問題を解消して自治体システムを統一することについては、地方自治を侵害する、住基ネット判例に反するという意見もあります。

そこで、今回の講演では、自治体システムの統一と地方自治を両立する方法、住基ネット判例との整合性確保について講演者の考えを説明し、官公庁が国民・住民に提供するサービス、国と自治体の役割分担の見直し、民主主義の強化について講演者の発表の後、参加者でディスカッションする予定です。

なお、「自治体情報システム標準化・共通化」や自治体システム 1,700 個問題の概要を説明しますので、これらについてご存じない方のご参加も歓迎いたします。

### 4 当日のタイムテーブル（予定）

- 14:00～15:00 講演（岩崎和隆）
- 15:00～15:05 休憩
- 15:05～16:00 ディスカッション

#### 【参加フォーム】

下の URL か右の QR コードをご利用ください。

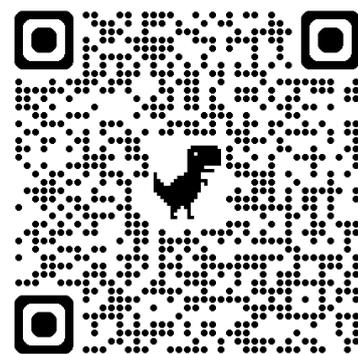
<https://forms.gle/ogRJ46tK4KaotmLfA>

8/29（木）までにお申し込みください。

⇒ 当日参加を可能にいたしました。なお、なるべく事前申し込みをお願いします。

※ 参加人数には余裕をもっておりますが、万が一、予定参加者数になりましたら、参加をお断りすることがございます。

※ 申込後、キャンセルするときは、問い合わせ先メールアドレスにご一報く



ださるとありがたいです。

【問い合わせ先】

gisr.iwasakikazutaka [at] gmail.com

([at] を@に置き換えてください。)